

地方創生に係るこれまでの検討状況

資料5

- 町民全員を対象に施策を募集し、**29**の施策案が提示された。
- 町民（新成人、高校生、中学生、小学6年生を含む。）のべ**2,374人**に対して、結婚・出産・子育て・地方移住・まちづくり等に関するアンケートを実施し、回答を得た。
- 「飯綱町まちづくり企画会議」において、“女性” “農業” “商工業” の3テーマについて、町民の若手中心に、施策案を検討中。**9**の施策案が提示された。
- 飯綱町議会に地方創生調査特別委員会を設置し、地方創生に関する検討を実施。
- 「飯綱町まち・ひと・しごと創生本部」（本部長：峯村町長）において、地方創生に係る取組の方向性等を議論。同本部のワーキンググループにおいて、町役場若手職員から**14**の施策案が提示された。
- 町役場職員全員を対象に施策案を募集し、**24**の施策案が提示された。
- **長野県**及び8市町村（**長野市、須坂市、中野市、飯山市、小布施町、高山村、信濃町、小川村**）を個別に廻り農業、子育て等の分野で連携して取り組むことを合意（連携対象分野は自治体毎に異なる）。
- 金融機関（八十二銀行、長野信用金庫、ながの農業協同組合）との連携協議を随時実施。
- 長野地域活性化推進会議及び長野地域連携推進協議会に参加し、広域的な連携の在り方を協議。
- 農業者、商工業者、地元民間企業等との協議を連日実施。